

和名抄に若狹和加佐國府名義いまだ考へ得ず、もしは字の如く、若々しく狹き國といふ義か、延喜神名式に、若狹國遠敷郡若狹比古神社二座大神とあるは、この國に坐ゆるの神號にや、又はこの神より負し國名にや、本末をしらず、或書に引る風土記の逸文に、昔此國有男女、爲夫婦、共長壽、人不知其年數、容貌若而如少年、後爲神、今一宮神是也、因茲有若狹之名とあり、こもよしありげにきこゆ、

〔若狹郡縣志國郡〕雄略天皇、勅覓美女於諸國、然無適意者、自斯國所獻之女、貌容美麗、而年齡又少、天皇見之、以其年少而愛之、故國名曰和加佐、一說、男女二人、自海鄉來住、無其知年數者、然不老而如少年、依之國名曰和加佐、男女者夫妻、而上下神矣、共國名風土記所載也、和加佐若狹、倭語相同、蓋上下者遠敷神、而今稱若狹比古若狹比賣者、依國名也、

位置

〔地勢提要乾〕各國經緯度附里程

若狹小濱町本極高三十五度三十分、經度東一分、從東都中山道、自關ヶ原、經木本及足田、一百四十里、一十三町四十六間、

〔日本經緯度實測〕北極出地

若狹小濱 三五度二〇分〇〇秒

敦賀町 三五度三九分三〇秒略中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略中

若狹 小濱 中度與京都同

疆域

〔若狹郡縣志國郡〕凡斯國、四方隣丹後、丹波、近江、越前等四箇、而群山峙、乾滄海、而北西兩國之船舶輻于茲也、

〔日本地誌提要三十六〕疆域 東ハ越前、近江、南ハ近江、丹波、西ハ丹後、北ハ海ニ至ル、東西凡壹拾貳里、南北凡四里、